



○一般会計要求総額	67,873百万円 (対前年度 +2.4%)
○特別会計要求総額 (※)	177百万円 (対前年度▲56.0%)

(※) 母子父子寡婦福祉資金特別会計

### 【令和5年度 予算要求の方針】

- 「子育てしたくなるまち」の実現  
地方から少子化対策を進めるため、未来への投資として、大胆な子育て支援や、妊娠・出産・産後の切れ目ない支援、女性のヘルスケア支援に取り組み、「子育てしたくなるまち」の実現を目指す。
- 「子どもがイキイキ育つ」環境づくり  
子どもファーストの考え方にに基づき、子どもたちが夢や希望を持ち、笑顔で健やかに「子どもがイキイキ育つ」環境づくりを推進します。

### 【令和5年度 予算要求の基本的な考え方】

○ **子育てしたくなる環境づくり**  
子ども・子育て支援を包括的に推進するとともに、病児保育事業の利用料無償化など、**大胆な子育て支援に取り組むことにより、若い世代やファミリー層を惹きつける流れを作る。**保育士等の処遇改善や保育環境を充実し、質の向上や量の確保を図ることで、待機児童の解消等につなげ、**安心して子育てのできる環境づくりを進めます。**

<主な事業>

・病児保育事業（利用料無償化）	・子ども医療費支給事業
・幼稚園教諭就職準備金給付事業	・若年層保育士に対する処遇改善事業

○ **妊娠・出産・産後の切れ目ない支援や女性のヘルスケア支援**  
**安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠前期から出産、子育て期において、一人ひとりに応じた伴走型支援や、産後ケア等の必要なサービスを提供し、切れ目ない支援に取り組みます。**また、プレコンセプションケアを含め、性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、**産前産後における女性のヘルスケア支援の充実を図る。**

<主な事業>

・きたきゅうベビー応援事業	・妊娠・出産・養育にかかる相談・支援等
・性と健康の相談センター事業	・母子健康診査（拡充）

○ **子どもがイキイキ育つ環境づくり**  
子どもの孤独・孤立への支援に取り組み、**ヤングケアラーや不登校状態の子どもなど支援が必要な子どもや若者一人ひとりに寄り添った支援を推進します。**地域の子どもの居場所やスペース LABO など、**子どもが健やかにイキイキと育つ環境づくりを進めます。**

<主な事業>

・ヤングケアラー支援訪問事業	・児童虐待防止のための SNS 相談事業
・子ども食堂開設支援事業	・不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業
・科学館普及事業	・放課後児童クラブ等活動支援事業

※公開時点での予算要求の内容であり、令和5年度に実施することが確定しているものではありません。

## 令和5年度子ども家庭局予算要求方針

### 1 令和5年度子ども家庭局予算要求総括及び方針

#### (1) 令和5年度子ども家庭局予算要求総括

##### 【一般会計】

職員数 202人 (令和4年10月1日現在)

(うち正規+再任用フル 194人)

(うち再任用短時間 8人)

令和5年度要求総額	67,872,885千円
(令和4年度予算額	66,268,008千円)
前年度比	+2.4%

##### 【母子父子寡婦福祉資金特別会計】

令和5年度要求総額	176,805千円
(令和4年度予算額	401,400千円)
前年度比	▲56.0%

#### (2) 令和5年度子ども家庭局予算要求の方針

##### 【予算要求方針の柱】

###### ○「子育てしたくなるまち」の実現

地方から少子化対策を進めるため、未来への投資として、大胆な子育て支援や、妊娠・出産・産後の切れ目ない支援、女性のヘルスケア支援に取り組み、「子育てしたくなるまち」の実現を目指す。

###### ○「子どもがイキイキ育つ」環境づくり

子どもファーストの考え方に基づき、子どもたちが夢や希望を持ち、笑顔で健やかに「子どもがイキイキ育つ」環境づくりを推進する。

## 【基本的な取組】

### ・子育てしたくなる環境づくり

子ども・子育て支援を包括的に推進するとともに、病児保育事業の利用料無償化など、大胆な子育て支援に取り組むことにより、若い世代やファミリー層を惹きつける流れを作る。

また、保育士等の処遇改善や保育環境を充実し、質の向上や量の確保を図ることで、待機児童の解消等につなげ、安心して子育てのできる環境づくりを進める。

### ・妊娠・出産・産後の切れ目ない支援や女性のヘルスケア支援

安心して子どもを生み育てることができるよう、妊娠前期から出産、子育て期において、一人ひとりに応じた伴走型支援や、産後ケア等の必要なサービスを提供し、切れ目ない支援に取り組む。

また、プレコンセプションケアを含め、性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、産前産後における女性のヘルスケア支援の充実を図る。

### ・子どもがイキイキ育つ環境づくり

子どもの孤独・孤立への支援に取り組み、ヤングケアラーや不登校状態の子どもなど支援が必要な子どもや若者一人ひとりに寄り添った支援を推進する。

また、地域の子どもの居場所やスペース LABO など、子どもが健やかにイキイキと育つ環境づくりを進める。

## 2 重点的に取り組みを行いたい主なもの

### (1) 子育てしたくなる環境づくり

#### **新規** 病児保育事業（利用料無償化） 14,200 千円

保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭などやむを得ない事由により、家庭での保育が困難な、病氣中・病氣回復期にある概ね生後3か月～小学6年生までの児童を一時的に預かる病児保育利用料の無償化を実施する。

#### 子ども医療費支給事業 3,279,046 千円

子育てに関する経済的負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。

ひとり親家庭等医療費支給事業 782,016 千円  
ひとり親家庭等の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。

**拡充** 私立幼稚園特別支援教育助成事業 78,600 千円  
(うち拡充分 5,100 千円)

私立幼稚園における特別支援教育の充実及び要支援児の就園先の更なる確保を図るため、市と協定を結び要支援児の受入に積極的に取り組む園（サポート園）に対し、受入経費に係る補助対象を拡充し、サポート園の増加に取り組む。

幼稚園教諭就職準備金給付事業 4,500 千円

市内の私立幼稚園における幼稚園教諭等の人材確保を目的として、養成校の新卒者が新規で採用された際に、就職準備等の費用を支援するための給付金を支給する。

若年層保育士に対する処遇改善事業 34,850 千円

若年層保育士の他職種や市外への流出を食い止め、市内保育所における安定的な人材確保を目的に、若年層の保育士に対し、本市独自の処遇改善を実施することで、持続的な保育の質の確保を図るとともに、待機児童対策を推進する。

## (2) 妊娠・出産・産後の切れ目ない支援や女性のヘルスケア支援

きたきゅうベビー応援事業 352,000 千円

妊娠前期から出産、子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援を一体として実施する。

妊娠・出産・養育にかかる相談・支援等 88,918 千円

妊娠・出産・産後の時期を健やかに過ごし、母子の健康を確保するため、産後ケアの利用者負担の軽減や産婦健康診査、産前産後のヘルパー派遣等を通じて、出産前後における切れ目ない支援の充実を図る。

**新規** 性と健康の相談センター事業 10,189 千円

成育基本方針を踏まえ、プレコンセプションケアや産前産後における女性のヘルスケア支援の充実を図り、男女問わず性や生殖に関する健康支援を総合的に推進する。

母子健康診査（拡充） 7,000 千円

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援に繋げるため、初回の産科受診料の費用を助成する。

### （3）子どもがイキイキ育つ環境づくり

**新規** ヤングケアラー支援訪問事業 9,968 千円

ヤングケアラーとなっている子どもやその家族の負担軽減及び子どもの健全育成、児童虐待防止を図るため、ヤングケアラーがいる世帯に対し、家事や育児支援を実施する。

**拡充** ヤングケアラー相談支援事業 15,000 千円  
(うち拡充分 5,000 千円)

ヤングケアラーの早期発見や支援のため、相談支援窓口の体制を強化し、ヤングケアラーの心のケアや、関係機関と連携し様々な支援サービスへ繋げることでケアの負担軽減を図る。

児童虐待防止のための SNS 相談事業 19,800 千円

児童虐待の未然防止や早期発見の観点から、子どもや保護者自身がより相談しやすくなるよう、SNS を利用した相談を実施する。

社会的養護自立支援事業 26,486 千円

進学や就職等で児童養護施設等を退所した子どもや若者に対し、生活の自立を促すため、居住費や生活費の一部を支援し、退所後のアフターケアを行う。

不登校状態の子どもに寄り添った次への一歩応援事業

17,287 千円

不登校状態にある中学生が卒業後に孤立してしまうことがないように、公認心理師等による定期的な家庭訪問を実施し、一人ひとりに寄り添った伴走型支援を実施する。

子ども食堂開設支援事業 9,397 千円

孤食の防止や子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのため、子ども食堂の普及拡大に向けた運営費等の補助を行うとともに、子ども食堂の運営に関心のある団体等に伴走型支援を行い、新規開設の後押しをする。

## 放課後児童クラブ等活動支援事業

1,171 千円

子どもたちに生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動などの様々な体験や活動をさせ、人間形成や学習習慣を養うため、放課後児童クラブや児童館等にスポーツ、文化等の指導員を派遣する。

## 科学館普及事業

219,096 千円

令和4年春にオープンしたスペースLABO（北九州市科学館）について、将来を担う技術系人材の育成を図り、修学旅行生や観光客も呼び込むことで東田地区全体の賑わいに寄与し、より効率的で魅力ある施設として運営する。